

広報広聴委員会先進地視察報告書

日 時	平成29年1月20日（金）午後1時から午後3時30分まで
視 察 先	三重県四日市市議会
視 察 項 目	議会報告会について
視 察 者	委員長 夏目 豊 副委員長 竹内慎治 委員 中平 猛、古俣泰浩、林 秀人、伊藤正治、渡邊眞弓、伊藤公平、 富田一太郎、大村 聡、島崎昭三
視 察 内 容	<p>四日市市議会では、これまで取り組んできた議会改革や情報公開をより具体的なものとし、四日市市市民自治基本条例に掲げる議会への市民参加を実現するように努めてきた。そこで、議会自らが地域へ出かけ、市民へ議会活動について説明・報告することで、議会としての説明責任を果たし、市民が行政に何を求め、議会にどのような政策を求めているのかを把握するため、また、市民と議会との距離を縮め、開かれた市議会を目指すために、市民との意見交換会であるシティ・ミーティングを平成18年に実施する運びとなった。</p> <p>議会報告会は、23年9月定例会議会から開催し、第1部を議会報告会として各定例会議会の報告、第2部をこれまでのシティ・ミーティングとして決められたテーマについて市民との意見交換を行い、毎回、常任委員会ごとに会場をわけ実施している。24年からは、常任委員会ごとに定例会議会閉会后速やかに議会報告を開催している。また、参加者を増やす取り組みとして、議会報告会の複数回数の実施、シティ・ミーティングの同時開催、常任委員会ごとの実施、開催日の変更（平日・休日）などに加え、議会モニター、ホームページでの意見募集、議案に対する意見募集及びフェイスブックによる情報発信などにより、参加者の減少や固定化に歯止めをかけるため試行錯誤を繰り返している。</p>
所 感	<p>シティ・ミーティングは、それぞれのテーマを設けて意見交換をすることにより、多くの市民から興味と感心、意見を引き出す取り組みとして参考となった。しかし、出席議員が議会としての意見ではなく、議員個人の意見として考えを述べることができ、様々な意見に対応していることは、議会としての説明責任の観点からも、諸刃の剣といえる。まずは、本会議・委員会などでの自由討議等の内容を踏まえた対応とするなど、今後の検討すべき項目と感じた。</p> <p>議会報告会では、それぞれの常任委員会がほかの委員会所管についても報告するため、議会全体の流れを各議員が把握しなければならず、議員資質の向上と各常任委員会の活動が活発になる要因の一部であると感じた。また、議会広報活動の一手段でもある議会だよりの一般質問の掲載内容は、本市の掲載内容と比べて、質問議員の思いや考え方を重視しているが、公費を投じて発行している議会における広報紙としての性格上、議員個人の意見を述べる場としての活用は、掲載スペースなどの議会報の編集方針を含めた総合的なメリット・デメリットを踏まえた慎重な検討が必要である。</p> <p>先進市議会ならではの試行錯誤しながら進もうとする姿勢や、より多くの市民から意見を引き出そうとする四日市市議会の広聴活動の取り組みは、本市における議会報告会の開催回数、会場設定、テーマの抽出などの課題を検討していく上で大変に参考となり、さらなる広報広聴活動の充実に向けた取り組みの必要性を強く感じた有意義な視察であった。</p>